



12月の緑化

ワンポイントアドバイス



12月は冬の害虫探しです

潜んでいそうな場所 木のまた、幹の割れ目、樹皮の隙間、
落ち葉の中、家の外壁、ブロック塀、
雨戸の裏側、石の下など

どんな格好で 幼虫、成虫、蛹、卵



カメムシ類

成虫そのままの格好で、温かいところに何匹か集まっています。
カメムシもテントウムシも臭いの強い昆虫で、この臭いの成分のうち
一部は仲間を集める集合フェロモンとして使われているようです。
そして集団で越冬することで、その臭いを武器にして捕食者から身を守ります。
越冬した成虫は温かくなると繁殖のために活動をし始め、子孫を残し
終わると寿命を迎えます。
産卵した卵は1週間～2週間すると孵化します



イラガ類（サコケ）類の越冬大作戦

丈夫な繭の殻は、前蛹を低温から守る防寒具です。

次に「過冷却戦法」凍るはずの温度でも凍りださない現象です。体に溜め込んだ不凍液が -20°C に100日間さらされても、厳冬期を生き抜いているわけです。

さらに、「細胞外凍結法」 -20°C 以下では、それまでの過冷却干歩を保てなくなって、体内に氷ができます。

しかし、細胞の隙間を満たしている体液は凍っても、細胞の中までは凍りません。細胞は凍結せず、春になれば繭になり、成虫が羽化します。

イラガは年に1～2回の発生があります。基本的に7～8月の夏季にみられることが多く、大量に発生する年だと9～10月にも見られます。

イラガの幼虫は食欲が旺盛で、ツバキ、サザンカ、モミジ、カキなどの葉を食べて丸裸に……

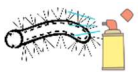


アメリカシロヒトリ

年に2度ほどの繁殖期があり、羽化及び産卵の時期は7月ごろと9月ごろ。5月下旬ごろに羽化、1回目の成虫が産卵します。

孵化して成長7月ごろに羽化・産卵し、孵化して成長9月に羽化・産卵します。この卵から孵化したものが越冬します。

終齢幼虫の頃、樹幹の割れ目や樹皮の隙間、浅い土中で蛹になり越冬し、5月下旬ごろに羽化、1回目の成虫が産卵します。



殺虫剤散布の時期は、羽化した直後。土壤消毒も忘れずに。

わからないこと、詳しく知りたいことがありましたら、緑の相談所の樹木医までお気軽にご相談ください。